



# びすけっと

246号—2023年8月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんとつながれるように…

Instagram始めました！

[https://www.instagram.com/biscuit\\_oyanokai/](https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/)



## 🌻埼玉県立小児医療センター小児がん相談支援センター令和4年度第2回患者家族セミナー

「一緒に考えよう いろいろな気持ちとの向き合い方～AYA世代のあなたとAYA世代を支える方へ～」

埼玉県立小児医療センター公認心理師 矢崎和子

(前回の続き)

周囲の人との関係や生活が病気によって変化して自分はダメだと思ってしまうことがあります。今病気と向き合っている自分を認めてあげてほしいと話されていました。イライラしたときはノートに書いたり第三者に話してみたりすると、冷静に伝えることが出来るかもしれない。自分がしてほしいこと、またはそっとしておいてほしいときにはそのことも伝えていいということです。難しいことは周囲の人に相談しながら自分で決めたと感じられることが大切だそうです。

本人だけでなく家族も支援を必要と感じたら支援を求めているそうです。AYA世代は親離れの時期であり一人の大人として接すること、適度な距離感で見守り、頼ってきたときにはしっかり受け止めることが大切だそうです。そして、家族も自分自身をいたわることを大切にしてほしいと話されていてホッとした気持ちになりました。

今回のお話を聴いて、わかっていたつもりでも不安な闘病生活の中で忘れがちになっていることがたくさんあることに気付きました。少し気持ちを整理して、少しでもストレスを減らして病気や日々の生活に向き合っていけたらいいなと思いました。(柳戸)

## 🌻がんの子どもを守る会主催 第26回親の会連絡会

6月11日(日)各地の病院、地域、インターネットなどで活動する親の会の連絡会が、現地とオンラインのハイブリッドで開催され、びすけっとも参加しました。当日は16団体38名が参加しました。

親の会の活動内容は、団体によって多種多様です。北海道のように広域で活動している会、肝芽腫のように疾患別で全国の人を対象にしている会はインターネットを利用したオンラインの活動が主のようです。それでも年に数回対面で実施する催しでしか感じられない充実感もあるので、改めて人と会えることの良さがわかりました。コロナ禍で人と会う機会が制限される期間が続き、その想いは一層強くなっていると思います。

また、会の存在をより多くのご家族に知っていただくこと、会を永く続けるための苦労などはどの会も共通しているように思いました。

近年は病院の支援体制も充実していますが、経験者同士同じ立場で話せたり、気軽に話ができたりするのは親の会の良さだと思います。びすけっとにもお気軽にご参加下さい。(柳戸)

次回のびすけっとは、**9/12(火)11:00～**

**相談室B(2F 総合受付奥)**

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail [yanagido@t.zaq.jp](mailto:yanagido@t.zaq.jp)

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、  
来る前にインスタや  
LINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード  
ラインでのご連絡もOK!

